


明けましておめでとうございます

宗像12地区コミュニティ運営協議会の会長が語る新年の抱負です


吉武地区 木村 健次 会長

吉武地区の特色を活かして、①安心安全②地域の子どもは地域で育てる③みんなで高齢者を見守る④歴史、文化遺産を大切にすまちづくりを、本部役員、地域住民と一体となって進めていきたいと考えています。




赤間地区 前田 誠 会長

赤間地区は設立から10年を経過致しました。地域のみなさまのご支援で確かな歩みを続けています。10月には東部地区の観光拠点施設が完成します。これを活かして新たなまちづくりに取り組み、魅力ある赤間づくりに努めます。




赤間西地区 安河内 敬武 会長

11の自治会と4部会で運営されています。各自治会それぞれの特徴を持ち寄り、気軽に楽しく会話のできるコミュニティ行事には、各自治会の出演、出店があります。壁を超えた付き合いが出来るまちをつくりあげたい。




自由ヶ丘地区 大嶋 長治 会長

今、新センター建設の真っ最中です。4月にオープンしますが、新センターがコミュニティ活動の拠点として機能し、若いも若きも、大勢の皆さんが立ち寄り、集い、談笑する、そんなセンターになればと、新春を迎え強く念じています。




河東地区 石田 重俊 会長

昨年4月、念願の河東コミュニティセンターがオープンし、大変喜んでおります。これからは多くの皆様が利用され、絆を深めて頂けるよう努力してまいりますのでよろしくお祈りいたします。




南郷地区 片山 忠和 会長

総合型地域スポーツクラブ「南の郷クラブ」が2月にスタートします。スポーツ、文化活動を楽しみながら子どもたちの体力づくりと大人の健康づくり・生きがいづくりに貢献できるクラブ運営ができればと願っています。




東郷地区 石田 剛明 会長

田熊石畑遺跡、JR東郷駅北口整備事業の進捗状況を見守りながら、当協議会活動の柱である安全で安心な地域社会の構築の手段として、各部会を通じ、相互の交流、共学場の設営に努めます。皆様の参画とご理解、ご協力をお願い致します。




日の里地区 花田 俊六 会長

昨年は、コミュニティセンター日の里会館の保全工事をを行いました。今年は東郷駅日の里口前広場の全面改修工事が始まります。これからも日の里に住んで良かったと言われるようなまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。




池野地区 早川 正史 会長

現代の文明の発達には、生活の豊かさをもたらしましたが、心の豊かさにはつながらず、人間関係の希薄化を進めました。ここに、地域コミュニティの存在の意味があると考えます。人間関係を大切にしたい里づくりに努力したいと思います。




玄海地区 花田 純一 会長

合併して2年目になります。25、26年度コミュニティの活動指針になるまちづくり計画を作成します。両地域の特色を活かしたまちづくり、どんな地域でありたいか、ワークショップで多くの方々の意見を聞き夢のある計画書が出来ればと思っています。




岬地区 権田 要助 会長

コミセンちゃ何するところな！から10年、今では皆さんの理解も深まって来た。今後は人材確保はもとより、将来の担い手である若者や子どもたちが主役となるイベントの展開が大切だと思う。自分たちが住む素晴らしいふる里づくりにめざしたい。



大島地区 梶原 實 会長

15歳にして島を離れる子どもたちに、自立できる力を保護者とともに地域がお手伝いしていきたいと思います。子どもの居場所づくり、高齢者とのふれあい活動を続け、地域の活性化を目指します。島全体がしっかり手をつなぎ、前進することが目標です。



市民力をエンジンに 活プランを点検する。

年間シリーズ その7 <コミュニティ>



地元のことは地元で

吉 武小学校学童保育の指定管理者に吉武コミュニティ運営協議会が採択されました。現在行っている放課後児童のための寺子屋事業がきっかけとなり、14年4月からは地域の人たちが学童保育の運営に取り組むことになっていきます。コミュニティビジネスの先駆的な事例ともいえます。

市の補助金を活用した活動も増えています。吉武地区の「吉武歴史観光ボランティアの会」「宗像よしたけ山村興し地域協議会」。地元の祭りの活性化をはかるために市民活動団体登録をした「神湊三自治会連合会」「鐘崎盆踊り振興会」「鐘崎中町区自治会」「田熊山笠実行委員会」等。放課後の子どもたちの居場所として各地に広がっている寺子屋事業も、岬・吉武では補助金を活用しています。



「コミュニティによる指定管理も補助金事業も、根底にあるのは「地元のことは地元で」という強い自立の精神。市の事業の下請けをさせられているというやらされ感を超えて、自分たちで何かができるという意識に変革した時、市民の力によるまちづくり（市民活動の推進）が本格的に動きはじめます。

市活プランでも、特色あるコミュニティ運営を行うために、コミュニティ事業へ参画する市民の育成、団体の育成を進めていくことを約束しています。

(むなかた市民フォーラム)

※市活プランとは、市民活動推進プランの略。豊かていきがいのあるまちにするために、元気な市民活動を応援していこうというプランです。宗像市のホームページから「宗像市のご案内」⇒「各種計画」⇒「宗像市市民活動推進プラン」で読むことができます。

人まちづくりで 新規事業

新規事業紹介
今年度採択された宗像市人づくりでまちづくり事業補助金の交付団体の中から、新規事業を紹介します。

ザ・マッチ・オブ東海大五高VS宗像高

東海大五高・宗像高定期戦実行委員会

11月10日(日)東海大学付属第五高等学校と県立宗像高等学校による野球部対抗戦が500人を超す観客の中、開催されました。結果は6対2で東海大五高の勝利でしたが、真剣に本気でぶつかる、甲子園を目指している高校球児の姿は多くの市民、子どもたちに憧れと感動のドラマを見せてくれました。

午後からの少年野球体験教室では約190人の小中学生と100人の高校生が、キャッチボールやベースランニング、バッティングなど、子どもたちは普段できない体験をし、憧れのお兄ちゃんとの1対1のキャッチボールでは異年齢での交流も楽しみました。

実行委員会では次年度以降も2校による対抗戦を続けながら他競技にも対抗戦を広げていき、スポーツ体験教室や交流イベントを開催し、地域の活性化と市民の健康づくりに貢献していきます。



問合せ先 0940-32-3311 (柴田)

市民の力をつなぐ交流会 part4

知ってあ？ 人まち補助金

人づくりでまちづくり補助金等を活用している団体の皆さんを中心に交流します。団体の活動紹介や補助金の上手な活用法、苦勞話なども出し合ひましょう。これから補助金申請を考えている団体の方もぜひご参加下さい。

とき 1月23日(木) 12:30~14:00
ところ メイトム宗像 結工房
参加費 200円(食事代) 軽食を準備します

申し込み・問合せ むなかた市民フォーラム 梶栗 (090-7298-7164)
※申込み1/20まで 0940-36-3741 (FAX専用)

